

7 さいたま輝き荻野吟子賞



埼玉県では、本県出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子（おぎのぎんこ）」にちなみ、その不屈の精神を今に伝える先駆的な活動をしているなど、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所の方々に「さいたま輝き荻野吟子賞」を贈っています。

この表彰制度は、女性と男性が個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画することができる男女共同参画社会づくりを推進するとともに、埼玉の偉人である荻野吟子を顕彰するため、平成17年度から実施しています。

■対象者

きらきら輝き部門	県内に在住（勤・学）若しくは県出身又は県内に所在し、先駆的な取組などにより各分野で特に功績が著しく今後の活躍が期待できる個人又は団体
さわやかチャレンジ部門	県内に在住（勤・学）又は県出身で、各分野にチャレンジし、今後さらなる活躍が期待できる年齢40歳未満の個人
いきいき職場部門	県内に所在し、男女が共同して参画することができる職場づくりに積極的に取り組んでいる事業所

●●●●●●●● 第14回（平成30年度）受賞者 ●●●●●●●●

きらきら輝き部門

※敬称略

吉野 美幸（外科医）

中学生の頃から途上国でのボランティア活動に関心を持ち、高3の時に医師を志すことを決意。平成24年から国境なき医師団の活動に参加し、今までにアフリカや中東を中心に計9か国・地域で計17回の派遣経験を持つ。語学研修を受け、現在は英語圏、フランス語圏両方の活動に従事している。1年のうち6か月は新座志木中央総合病院に勤務し、残り6か月は国境なき医師団の活動に充てている。平成30年から国境なき医師団日本副会長を務める。（新座市在勤）

さわやかチャレンジ部門

※敬称略・五十音順

倉橋 香衣（ウィルチェアラグビー選手）

大学在学中、トランポリン競技中の事故により頸髄を損傷し四肢麻痺状態となる。自立訓練施設にて始めたウィルチェアラグビーでその実力が評価されて、女性初の日本代表に選出された。「GIO 2018 IWRF ウィルチェアラグビー世界選手権」では日本代表の初優勝に貢献する。（越谷市在住）

平山 真希（調教師）

騎手になる夢をかなえるため高校中退後、地方競馬教養センターに入所。平成12年浦和競馬場にて騎手としてデビューし同年初優勝、通算成績は856戦25勝。平成23年調教師試験に合格、同年管理馬初出走で初勝利。その後右肩上がりに成績を伸ばし、平成30年10月1日現在243勝。（さいたま市在住）

いきいき職場部門

※五十音順

株式会社キャストック（加須市）

自動車の金型部品製造業。女性の勤続年数を伸長する取組として、育児休業取得の積極的支援・同ポスト復職の確約などを実施する。結婚により転居が必要になった社員を雇用条件の変更なしで在宅勤務へシフトし、勤務を継続できる仕組みを作る。平成30年に企業主導型保育所「ぶなの木保育園」が完成、10月から利用が開始された。

ハスクバーナ・ゼノア株式会社（川越市）

農林・造園機器製造業。スウェーデン資本のハスクバーナグループの一員である。全女性従業員を対象にしたキャリアカウンセリング面談の実施や各種研修・メンタートレーニング等を通じて、女性が仕事と生活を両立しながら安心して管理職を目指すように配慮している。職場と管理職の理解を得ることに取り組み、製造業職男性従業員の育児休業取得が促進された。